

## 2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <http://www.nisseiasb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 宮坂 純一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 容貝 泉夫 TEL 0267-23-1560

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第2四半期の連結業績 (2020年10月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	17,875	46.3	4,840	156.5	5,507	238.8	3,960	115.6
2020年9月期第2四半期	12,218	△0.3	1,887	34.9	1,625	2.6	1,836	44.5

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 4,759百万円 (287.8%) 2020年9月期第2四半期 1,227百万円 (△2.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	264.15	ー
2020年9月期第2四半期	122.50	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	63,056	35,259	55.9
2020年9月期	57,899	31,384	54.2

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 35,231百万円 2020年9月期 31,363百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	ー	0.00	ー	60.00	60.00
2021年9月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2021年9月期(予想)	ー	ー	ー	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	32.1	6,500	34.0	6,600	41.3	4,700	10.9	313.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	15,348,720株	2020年9月期	15,348,720株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	357,081株	2020年9月期	357,048株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	14,991,658株	2020年9月期2Q	14,991,674株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2021年5月27日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料については、決算説明会までに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	11
受注及び販売の実績	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年10月1日～2021年3月31日)の世界経済は、新型コロナウイルスに起因する非常に不確実な状況が継続しました。ワクチン接種率の増加により景況感に改善も見られ、経済対策の実施などもあり年後半にかけて景気が回復し、世界全体の経済成長率も伸長することが期待されます。しかし、足元では新たな変異株が発生し、また感染者数の拡大に歯止めもかからず、依然として先行き不透明で予断を許さない状況です。我が国においても、2021年3月の緊急事態宣言解除後に再び感染が拡大しており、経済への影響も含め、今後も非常に不確実な状況が継続する見通しです。

一方で、当社グループの属するストレッチブロー成形機業界におきましては、大規模展示会の開催中止や、各国間の移動制限や隔離措置などによる事業活動への一時的なマイナス影響はあるものの、コロナ禍による生活様式の変化を受け、安全で衛生的なプラスチック容器の需要は高まっており、食料・飲料及び日用品などの生活必需品を中心とした容器需要は底堅く推移しております。

こうした環境下、当社グループは「人と社会に豊かさを提供する」「高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する」との経営理念に基づき、中長期的な成長発展方針を継続し、事業規模の拡大を見据えた各種戦略的施策の展開に注力しました。

技術面では、当社の得意領域である、高品質・高付加価値生産が特徴のワンステップ成形機の優位性を高める「ゼロ・クーリングシステム」の更なる進化を図り、製品競争力の向上に努めました。また、大量生産機のシェア拡大や、環境問題を含む幅広い用途への利用を企図して、高品質・高付加価値な新型機群の開発を強化しております。

販売面では、競争力強化による市場喚起に加え、コロナ禍による衛生観念の広がりを追い風に、安全で衛生的なプラスチック容器の需要が好調に推移しております。また、高品質な飲料系ボトルの大量生産を得意とする1.5ステップの大型機「PF36シリーズ」が継続して受注を獲得するなど、顧客と市場の幅を着実に広げております。

生産面では、インド工場における金型生産能力の増強を完了しました。また、生産性の改善を更に進めるとともに、本社工場へ金型追加加工設備を導入し、グローバルでの生産全体最適を図る柔軟な体制を構築することにより、増産対応とリスク分散を進めております。また今後の顧客需要に、より迅速かつ的確に対応していくため、インド工場へ追加の設備投資を実施することを決定しました。

また環境対応技術では、「3R+Renewable」への取り組みを継続し、「材料使用量の削減」、「PETボトルリユースの提案」、「リサイクル材料の使用促進」、「バイオプラスチックのボトル成形」などのソリューションを提供することで、環境配慮型の技術提案を強化しております。なお、リサイクル材料を使った二層成形法には国内外からの多くの引き合いをいただいております、市場萌芽に向けた技術革新を今後も続けてまいります。

販売成績につきましては、ゼロ・クーリングシステムの市場浸透に加え、安全で衛生的なプラスチック容器の需要の高まりを受け、全世界からの引き合いが好調に推移した結果、当期の受注高は19,096百万円(前年同期比120.0%)と大きく伸長しました。また当期末の受注残高は16,611百万円(前年同期末比131.8%)となり、受注高、受注残高共に過去最高水準にて推移しています。売上高につきましても、豊富な受注残高を順調に消化した結果、17,875百万円(前年同期比146.3%)と大幅増収となり、第2四半期としては過去最高を記録しました。

利益面につきましては、大幅な増収が寄与し、売上総利益は8,599百万円(同147.7%)、営業利益は4,840百万円(同256.5%)、経常利益は5,507百万円(同338.8%)とそれぞれ大幅増益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益も3,960百万円(同215.6%)と大幅増益となりました。

当第2四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第2四半期	17,875	8,599	4,840	5,507	3,960
前第2四半期	12,218	5,821	1,887	1,625	1,836
前年同期比	146.3%	147.7%	256.5%	338.8%	215.6%

## 製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第2四半期	10,379	4,813	1,048	1,633	17,875
前第2四半期	6,226	3,639	820	1,532	12,218
前年同期比	166.7%	132.3%	127.8%	106.6%	146.3%

製品別売上高の状況につきましては、ストレッチブロー成形機が10,379百万円（前年同期比166.7%）、金型が4,813百万円（同132.3%）となりました。特にストレッチブロー成形機につきましては、世界各地からの引合いを受け、大幅な増収となっております。また付属機器が1,048百万円（同127.8%）、部品その他が1,633百万円（同106.6%）と、これら付帯製品、サービスも増収となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## セグメント（地域）別売上高状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第2四半期	6,317	3,802	5,262	2,492	17,875
前第2四半期	3,654	2,618	3,982	1,963	12,218
前年同期比	172.9%	145.2%	132.2%	126.9%	146.3%

## セグメント（地域）別利益

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第2四半期	1,243	478	941	3,845	6,509
前第2四半期	577	332	284	2,061	3,256
前年同期比	215.3%	143.9%	330.8%	186.6%	199.9%

## ① 米州

消毒液や生活必需品等の容器需要の高まりを受け、北米を中心に好調な引き合いが続いたことにより、地域全体の売上高は6,317百万円（前年同期比172.9%）と増収となりました。セグメント利益も、増収が寄与し1,243百万円（同215.3%）と増益となりました。

## ② 欧州

欧州各国ではコロナ禍への対応が異なり、地域による濃淡の差はあるものの、中小型機を中心に引き合いが好調に推移した結果、地域全体の売上高は3,802百万円（前年同期比145.2%）と増収となりました。セグメント利益も、増収効果に加え、展示会費用の減少等により478百万円（同143.9%）と増益となりました。

## ③ 南・西アジア

コロナ禍による影響は域内の新興国に色濃く残るものの、インドを中心に中小型機の引き合いが復調した結果、地域全体の売上高は5,262百万円（前年同期比132.2%）と増収となりました。セグメント利益も増収効果により941百万円（同330.8%）と増益となりました。

## ④ 東アジア

各国市場の引き合いは底堅く推移しており、地域全体の売上高は2,492百万円（前年同期比126.9%）と増収となりました。セグメント利益は、増収の効果、及び展示会費用の減少等により3,845百万円（同186.6%）と増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
当第2四半期	46,892	16,163	14,142	13,654	35,259
前連結会計年度	42,020	15,879	11,783	14,731	31,384

当第2四半期連結会計期間末（以下、当期末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ4,871百万円増加し、46,892百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ284百万円増加し、16,163百万円となりました。この結果、当期末の資産合計は、前期末と比べ5,156百万円増加し、63,056百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ2,359百万円増加し、14,142百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ1,077百万円減少し、13,654百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ3,874百万円増加し、35,259百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金）は、前連結会計年度末に比べ2,000百万円増加し、21,199百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間（以下、当期間）における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の期末残高
当第2四半期	3,938	△428	△1,914	21,199
前第2四半期	4,623	△919	△1,912	10,058

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加、たな卸資産の増加による運転資本の増加などにより、営業活動の結果増加した資金は3,938百万円（前年同期：4,623百万円の収入）となりました。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

インド工場の金型生産設備に係る支出があり、投資活動の結果支出した資金は428百万円（前年同期：919百万円の支出）となりました。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済や期末配当金の支払いにより、財務活動の結果支出した資金は1,914百万円（前年同期：1,912百万円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想につきましては、2020年11月11日公表の予想に変更はありません。

当第2四半期連結会計期間は、好調な業績となりました。通期業績予想に対する進捗度は、売上高49.7%、営業利益74.5%、経常利益83.4%となっており、通期業績が上振れる可能性が高まっております。

インド生産子会社は、コロナ禍においても工場の生産改善を継続しており、業績好調の重要な要因となりました。また同社は、インド国においてエッセンシャル（生活必需）ビジネスとして認定されており、同国のコロナ禍に係る規制下においても、安定した稼働を継続しております。但し、インド国におけるコロナ感染者数は増加しており、同国経済やサプライチェーンへの影響が懸念されるなど、同社を取り巻く環境の不透明性は高まっております。

また、当第2四半期の前半は円高基調で推移したものの、2021年3月にかけて急激に円安基調となりました。為替の変動が営業利益に与える影響は限定的ですが、債権債務の換算により経常利益に対しては重要な影響を与える可能性もあります。

これらの諸事情に鑑み、通期業績は現在の公表予想値を上回る可能性が非常に高いものの、現時点では増加金額の合理的見積もりが困難であるため、公表数値を据え置くことといたします。なお通期業績予想につきましては、合理的な予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,699	19,699
受取手形及び売掛金	7,817	7,925
有価証券	1,500	1,500
商品及び製品	1,772	2,031
仕掛品	5,874	7,016
原材料及び貯蔵品	6,176	7,248
その他	1,248	1,534
貸倒引当金	△68	△62
流動資産合計	42,020	46,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,044	5,035
機械装置及び運搬具(純額)	4,811	5,403
土地	1,165	1,169
その他(純額)	2,980	2,471
有形固定資産合計	14,001	14,079
無形固定資産	106	124
投資その他の資産		
投資有価証券	164	189
その他	1,611	1,770
貸倒引当金	△3	△0
投資その他の資産合計	1,771	1,960
固定資産合計	15,879	16,163
資産合計	57,899	63,056

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,117	4,452
短期借入金	1,898	2,011
未払法人税等	575	1,202
前受金	4,200	4,344
賞与引当金	482	472
役員賞与引当金	49	25
その他	1,458	1,633
流動負債合計	11,783	14,142
固定負債		
長期借入金	13,036	11,947
役員退職慰労引当金	472	466
退職給付に係る負債	715	712
その他	507	527
固定負債合計	14,731	13,654
負債合計	26,515	27,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	27,686	30,761
自己株式	△300	△300
株主資本合計	34,443	37,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	24
為替換算調整勘定	△3,033	△2,267
退職給付に係る調整累計額	△45	△43
その他の包括利益累計額合計	△3,079	△2,286
非支配株主持分	20	27
純資産合計	31,384	35,259
負債純資産合計	57,899	63,056



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	12,218	17,875
売上原価	6,397	9,275
売上総利益	5,821	8,599
販売費及び一般管理費	3,934	3,759
営業利益	1,887	4,840
営業外収益		
受取利息	78	67
受取配当金	3	3
為替差益	—	460
受取手数料	89	33
受取和解金	—	146
その他	61	67
営業外収益合計	232	778
営業外費用		
支払利息	24	26
為替差損	220	—
遊休資産諸費用	65	—
訴訟関連費用	179	75
その他	3	8
営業外費用合計	494	111
経常利益	1,625	5,507
特別利益		
固定資産売却益	18	—
保険差益	419	—
特別利益合計	438	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	2,063	5,507
法人税、住民税及び事業税	501	1,560
法人税等調整額	△276	△18
法人税等合計	225	1,541
四半期純利益	1,837	3,965
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,836	3,960

## (四半期連結包括利益計算書)

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,837	3,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	25
為替換算調整勘定	△575	766
退職給付に係る調整額	—	2
その他の包括利益合計	△610	794
四半期包括利益	1,227	4,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,227	4,752
非支配株主に係る四半期包括利益	0	6

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,063	5,507
減価償却費	707	748
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12	△14
受取利息及び受取配当金	△81	△70
支払利息	24	26
固定資産売却損益 (△は益)	△18	—
売上債権の増減額 (△は増加)	934	290
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△417	△2,037
仕入債務の増減額 (△は減少)	414	990
前受金の増減額 (△は減少)	1,255	△64
その他	164	△463
小計	5,035	4,913
利息及び配当金の受取額	77	71
利息の支払額	△24	△26
法人税等の支払額	△465	△1,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,623	3,938
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	124	—
有形固定資産の取得による支出	△1,063	△416
有形固定資産の売却による収入	21	0
無形固定資産の取得による支出	△6	△12
その他	3	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△919	△428
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△967	△976
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△897	△899
その他	△47	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,912	△1,914
現金及び現金同等物に係る換算差額	△168	404
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,623	2,000
現金及び現金同等物の期首残高	8,435	19,199
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,058	21,199

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,654	2,618	3,982	1,963	12,218	—	12,218
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	15	3,124	6,476	9,653	△9,653	—
計	3,691	2,633	7,106	8,440	21,872	△9,653	12,218
セグメント利益	577	332	284	2,061	3,256	△1,368	1,887

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,368百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,695百万円、セグメント間取引消去326百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,317	3,802	5,262	2,492	17,875	—	17,875
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27	14	4,041	10,393	14,475	△14,475	—
計	6,344	3,816	9,303	12,885	32,350	△14,475	17,875
セグメント利益	1,243	478	941	3,845	6,509	△1,668	4,840

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,668百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,670百万円、セグメント間取引消去1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## 受注及び販売の実績

## ① 受注実績

製品別	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	9,162	7,609	11,686	10,415	127.5	136.9
金型	4,100	4,031	4,489	4,928	109.5	122.3
付属機器	1,103	887	1,307	1,173	118.5	132.2
部品その他	1,550	74	1,614	94	104.1	126.0
合計	15,916	12,603	19,096	16,611	120.0	131.8

セグメント別	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
米州	4,335	3,216	5,891	5,194	135.9	161.5
欧州	3,155	2,418	3,117	2,789	98.8	115.3
南・西アジア	4,522	3,316	6,051	4,727	133.8	142.6
東アジア	3,903	3,651	4,036	3,899	103.4	106.8
合計	15,916	12,603	19,096	16,611	120.0	131.8

(注) なお受注高の計算に際しては、前期以前に受注した案件のキャンセルは前期末受注残高より控除しております。

## ② 販売実績

製品別	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	
ストレッチブロー成形機	6,226	51.0	10,379	58.1	166.7
金型	3,639	29.8	4,813	26.9	132.3
付属機器	820	6.7	1,048	5.9	127.8
部品その他	1,532	12.5	1,633	9.1	106.6
合計	12,218	100.0	17,875	100.0	146.3

セグメント別	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
米州	3,654	29.9	6,317	35.3	172.9
欧州	2,618	21.4	3,802	21.3	145.2
南・西アジア	3,982	32.6	5,262	29.5	132.2
東アジア	1,963	16.1	2,492	13.9	126.9
合計	12,218	100.0	17,875	100.0	146.3